

## CIPA REPORT Web 版について

一般社団法人カメラ映像機器工業会(CIPA)でまとめているデジタルカメラ及び銀塩カメラ並びにこれらに関連する映像関連機器に関する統計データを集約して掲載した。

2009年まで発行した書籍版「日本のカメラ産業 (CIPA REPORT)」に替えて電子データ版としたもので、毎月、定例で実施している月次出荷統計を一覧しやすい年計版によって補完することを目的とする。

## ご利用上の注意

1. 資料は、随時更新を行い、公表している最新年次のものを収録する。
2. 資料によっては、各月の年間累計と年計調整値が一致しない場合がある。
3. 単位未満の四捨五入によって合計と内訳が一致しない場合がある。
4. 出典としてカメラ映像機器工業会(CIPA)とあるものの内 2002年5月までは日本写真機工業会(JCIA)統計、それ以降は CIPA 統計に依っている。

## カメラ映像機器工業会(CIPA)統計

1. 統計対象は、カメラ映像機器工業会(CIPA)会員の統計参加会社。
2. 1975年より会員の「海外生産分」が、生産、出荷に含まれる。また、会員の OEM 調達分を含む(会員企業間で OEM 供給している場合、ダブルカウントが無いように調整)。
3. 生産金額は工場出荷価格に生産台数を乗じて算出した金額。
4. 出荷金額は FOB 価格に出荷台数を乗じて算出した金額(日本向けは日本国内販社がある場合、国内税抜き売り渡し価格、無い場合はそれに相当する価格)。
5. デジタルスチルカメラ統計は、1999年より開始。銀塩カメラ・カメラ用交換レンズ統計は、1951年より開始。A4未滿フォトプリンター統計は、2004年より開始。
6. CIPA 統計にある記号は下記の区分による。

0印：単位未滿

ー印：実績のないもの

N.A.：データ無し

7. 統計上の分類は、市場の変化に伴って、統計作成上の規則や調査票見直し等によって変更する場合があります。

## ● 免責事項

当工業会は、当サイトの利用、あるいは当サイトの内容の引用・転載・複製等により生じた損害に対して何ら責任を負うものではありません。

---

## カメラ関係品目の統計上の分類

---

CIPA 統計におけるカメラ関係品目の分類を示すと次の通りになる。

### ● デジタルカメラ

- ① レンズ一体型  
いわゆるコンパクトデジタルカメラ
- ② レンズ交換式  
「一眼レフ」と「ミラーレス」に分類

### ● カメラ用交換レンズ

1)35mm 以上用

2)35mm 未満のフォーマット用

上記の区分をそれぞれ下記の区分に分類

- A) 単焦点(フィッシュアイを含む)
- B) 特殊(単焦点のシフト、ティルト、マクロレンズ)
- C) ズームレンズ(ズーム機構の付いたレンズ)

上記 C「ズーム」は下記の区分に分類

- D) 高倍率ズーム(カタログ公表値の焦点距離倍率が 5 倍以上)
- E) 一般ズーム (カタログ公表値の焦点距離倍率が 5 倍未満)

上記 E「一般ズーム」は F、G、H の 3 区分に細分類

- F) 広角ズーム(カタログ公表値の 35mm 換算のズーム [テレ端]が 50mm 以下)
- G) 標準ズーム(カタログ公表値の 35mm 換算の 50mm をはさんで前後にズーム領域を持つ)
- H) 望遠ズーム(カタログ公表値の 35mm 換算のズーム [ワイド端]が 50mm 以上)

### ● 銀塩カメラ (2008 年 1 月まで実施)

- ① フォーカルプレキシッター  
(ファインダーの型式を問わない。ほとんどが一眼レフカメラ)
- ② レンズシャッター  
(ハーフカメラを含むものとし、ファインダーの型式を問わない。いわゆるコンパクトカメラ)
- ③ 中・大判  
(ブローニー(120,220)フィルム及びシートフィルムを使用するカメラ)
- ④ その他  
(前記①、②、③に分類されない銀塩カメラ。110、ディスク等を含む。ただし業務用カメラを除く)

### ● A4 未満フォトプリンター (2013 年まで実施)

A4 未満で、かつ PictBridge を標準搭載したフォトプリンター